

参加
無料

埼玉県AI・IoTコンソーシアム 令和2年度第1回フォーラム（ライブ配信）

今、企業にDX（デジタルトランスフォーメーション） が求められる理由とは？

日時

令和2年11月17日（火）14:00～16:00

方式

Zoom ウェビナーによるライブ配信

定員 90名（先着順）

対象

埼玉県AI・IoTコンソーシアム 一般・協力会員

（未加入の場合でも申込時にコンソーシアムへの入会登録をすることで参加できます）

申込方法

以下のホームページの申込フォームからお申込みください。

<https://www.saitama-j.or.jp/seminar/aiiotconsortium201117/>



講演
1

「製造業におけるDXとは（アフターコロナに向けて）」

CIO Loungeメンバー IoT Link Labo代表 田井 昭 氏
（元コニカミノルタ 執行役 IT企画部長（CIO））



14:05
～15:05

プロフィール

1981年、小西六写真工業（現コニカミノルタ）株式会社に入社。MFPの開発、海外駐在経験後、本社 IT 部門長、執行役CIOとしてグローバル対応、レガシーITの刷新、DX対応を推進。コニカミノルタを退社後、「IoT Link Labo」を設立。企業のIT戦略策定、DX開発支援しつつ、CIO Loungeのメンバーとなる。

概要

最近よく聞く「DX（デジタルトランスフォーメーション）」って何なのでしょう？多くの大企業では、DX戦略やDX専門部隊を作り、経営者は「弊社ではDXに積極的に取り組んでいます」とPRしています。そもそもDXは大企業に限ったものなのでしょうか？製造業に関係はあるのでしょうか？何を今やるべきなのでしょう？AI、IoT、5Gなど最新IT技術と混在して、DXはより解りにくいものとして捉えられています。本講演では、アフターコロナに向けてさらに加速するとされるDXについて、その正体とは？中小製造業との関係は？など、具体的な事例を交えて詳説します。

講演
2

「誰もがAIでやりたいことにチャレンジできる地域を目指して ～AI・IoTプラットフォームのご紹介～」

株式会社富士通総研 コンサルティング本部行政情報化グループ
チーフシニアコンサルタント 長谷川 誠 氏



15:10
～16:00

プロフィール

2007年、株式会社富士通総研に入社。研究開発部、環境事業部、社会調査室、公共事業部を経て現在に至る。産業政策や先端技術活用に関するコンサルティングに従事。

概要

Withコロナ時代の到来により、社会・産業のデジタル化が加速し、製造業においても、デジタル化した製造ノウハウや自社開発したAIの他社展開といった新たなビジネスモデルを広げる企業が増えています。埼玉県では、AI等の普及による地域企業の生産性向上に向けて、AI・IoTプラットフォームを整備し、弊社はその企画・運営を支援しています。本講演では、最新のAI活用動向を踏まえ、AI・IoTプラットフォームに搭載されたばかりの新機能（マッチング機能）やAI導入のポイントなどについて紹介します。